



三菱UFJフィナンシャル・グループ

平成25年度第1四半期決算ハイライト

平成25年7月31日

Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

<本資料における計数の定義>

連結 : 三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)
2行合算 : 三菱東京UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算

● 損益サマリー	3
● B/Sサマリー	4
● 貸出金・預金	5
● 国内預貸金利回り	6
● 貸出資産の状況	7
● 保有有価証券の状況	8
● 日本国債の保有状況	9
● (ご参考)欧州周縁国へのエクスポージャー	10

損益サマリー

【連結・2行合算】



● 業務純益

- 国債等債券関係損益が減少した一方、海外貸出収益を主因として資金利益が増加したことに加え、役務取引等利益やセールス&トレーディング収益の増加により、業務粗利益は増加
- 営業費は海外事業に係る経費を主因に増加
- 以上の結果、連結業務純益は減少

● 与信関係費用総額

- 個別貸倒引当金繰入額が増加した一方、一般貸倒引当金戻入益の計上によりほぼ横這い

● 株式等関係損益

- 株式等償却の減少を主因に改善

● 四半期純利益

- 以上の結果、四半期純利益は723億円増益の2,552億円

〈ご参考〉	24年1Q	25年1Q	増減	26年度目標
経費率(連結)	55.5%	59.7%	4.1%	50%台後半
経費率(2行合算)	48.3%	56.0%	7.7%	50%台前半
連結ROE ^{*1}	7.79%	9.85%	2.06%	8%程度

*1 $\frac{(\text{四半期純利益} \times 4) - \text{非転換型優先株式年間配当相当額}}{(\text{期首株主資本合計} - \text{期首発行済非転換型優先株式数} \times \text{払込金額} + \text{期首為替換算調整勘定}) + 2}$ × 100
 + $\frac{(\text{期末株主資本合計} - \text{期末発行済非転換型優先株式数} \times \text{払込金額} + \text{期末為替換算調整勘定})}{2}$

〈連結P/L〉

(単位:億円)

	24年1Q	25年1Q	増減
1 連結業務粗利益(信託勘定償却前)	9,323	9,489	166
2 資金利益	4,187	4,413	225
3 信託報酬+役務取引等利益	2,356	2,957	601
4 特定取引利益+その他業務利益	2,779	2,118	▲ 660
5 うち国債等債券関係損益	2,170	675	▲ 1,495
6 営業費(▲)	5,180	5,665	485
7 連結業務純益	4,142	3,823	▲ 318
8 与信関係費用総額 ^{*2}	▲ 148	▲ 154	▲ 6
9 株式等関係損益	▲ 545	128	673
10 株式等償却	▲ 646	▲ 73	572
11 持分法による投資損益	101	396	295
12 その他の臨時損益	▲ 142	12	154
13 経常利益	3,407	4,206	799
14 特別損益	▲ 230	▲ 268	▲ 37
15 法人税等合計	▲ 1,031	▲ 954	76
16 四半期純利益	1,829	2,552	723
17 1株当たり利益(円)	12.93	18.03	5.10

〈2行合算P/L〉

	24年1Q	25年1Q	増減
18 業務粗利益(信託勘定償却前)	6,440	5,807	▲ 632
19 営業費(▲)	3,111	3,256	145
20 業務純益	3,329	2,551	▲ 777
21 与信関係費用総額 ^{*2}	4	▲ 22	▲ 26
22 経常利益	2,353	2,388	34
23 四半期純利益	1,508	1,422	▲ 85

*2 与信関係費用(信託勘定) + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用(臨時損益) + 貸倒引当金戻入益 + 偶発損失引当金戻入益(与信関連) + 償却債権取立益

(単位:億円)

●貸出金

- 住宅ローンおよび国内法人貸出が減少した一方、海外貸出を主因に25年3月末比増加

●有価証券

- 国債を主因に25年3月末比減少

●預金

- 法人等預金が減少した一方、個人預金および海外店その他の増加により、25年3月末比増加

●開示債権

- 開示債権の減少により、開示債権比率は25年3月末比低下

●その他有価証券評価損益

- 国債および外国債券の評価損益悪化を主因に25年3月末比悪化

〈連結B/S〉

	25年3月末	25年6月末	25年3月末比
1 資産の部合計	2,344,987	2,340,817	▲4,169
2 貸出金(銀行勘定+信託勘定)	914,032	929,929	15,897
3 貸出金(銀行勘定)	[912,995]	[928,880]	[15,884]
4 うち住宅ローン ^{*1}	165,903	164,309	▲1,594
5 うち国内法人貸出 ^{*1}	476,107	474,927	▲1,180
6 うち海外貸出 ^{*2}	254,375	271,333	16,957
7 有価証券(銀行勘定)	795,268	710,709	▲84,558
8 うち国内株式	47,227	49,566	2,338
9 うち国債	487,079	402,799	▲84,280
10 うち外国債券	188,696	190,853	2,156
11 負債の部合計	2,209,790	2,203,994	▲5,796
12 預金	1,316,970	1,340,286	23,315
13 うち個人預金(国内店)	673,428	684,456	11,028
14 純資産の部合計	135,196	136,822	1,626
15 金融再生法開示債権 ^{*1}	16,968	16,294	▲674
16 開示債権比率 ^{*1}	1.80%	1.71%	▲0.08%
17 その他有価証券評価損益	18,851	15,169	▲3,681

*1 2行合算+信託勘定

*2 海外支店+ユニオンバンク・コーポレーション+BTMU(中国)+BTMU(オランダ)

貸出金・預金

● **連結貸出金残高92.9兆円**
(25/3末比+1.5兆円)

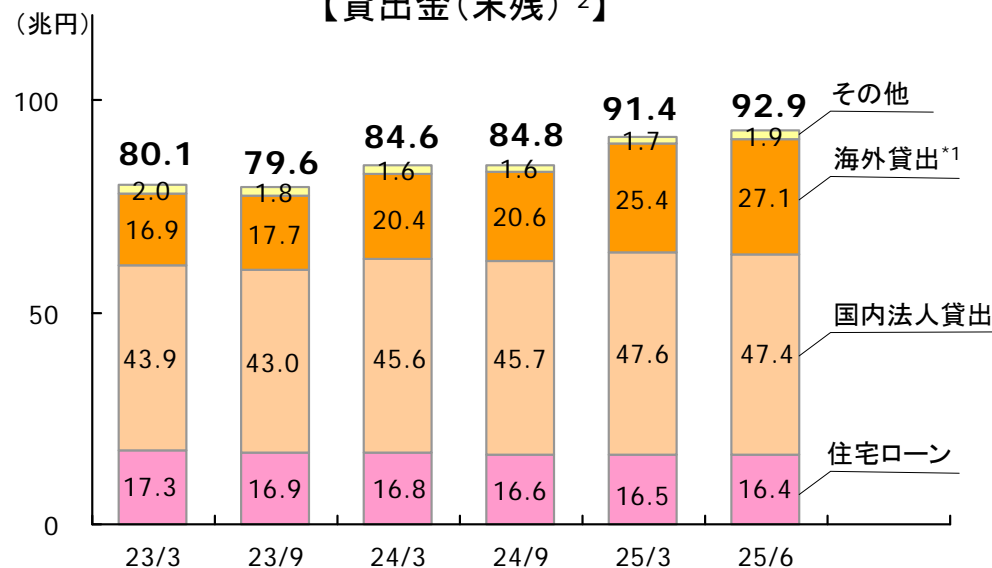
<25/3末比増減の主要因>

- 住宅ローン ▲0.1兆円
- 国内法人貸出 ▲0.1兆円
- 海外貸出*1 +1.6兆円
(除く為替影響) (+0.5兆円)

*1 海外支店+ユニオンバンク・コーポレーション+BTMU(中国)
+ BTMU(オランダ)

*2 銀行勘定+信託勘定

【貸出金(末残)*2】

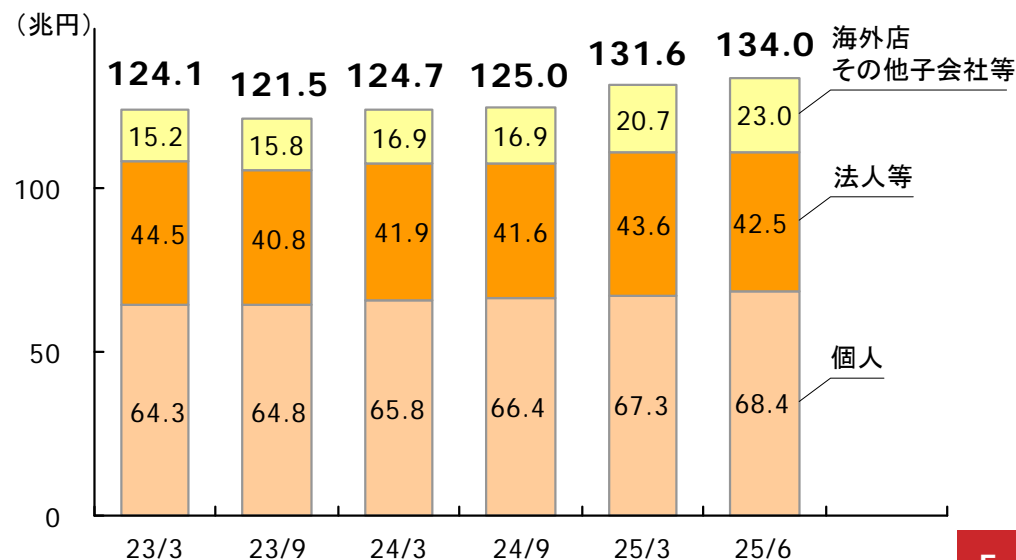


● **連結預金残高134.0兆円**
(25/3末比+2.3兆円)

<25/3末比増減の主要因>

- 個人預金 +1.1兆円
- 法人等預金 ▲1.1兆円
- 海外店その他 +2.3兆円
(除く為替影響) (+1.1兆円)

【預金(末残)】



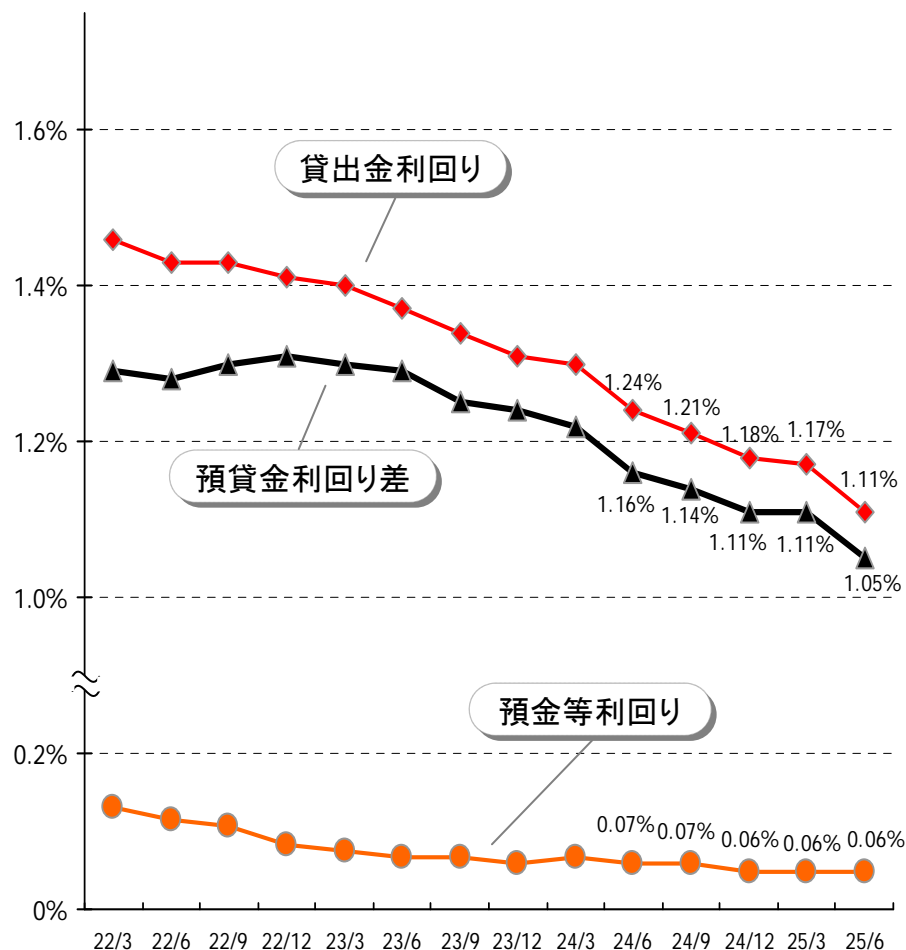
国内預貸金利回り

【2行合算】

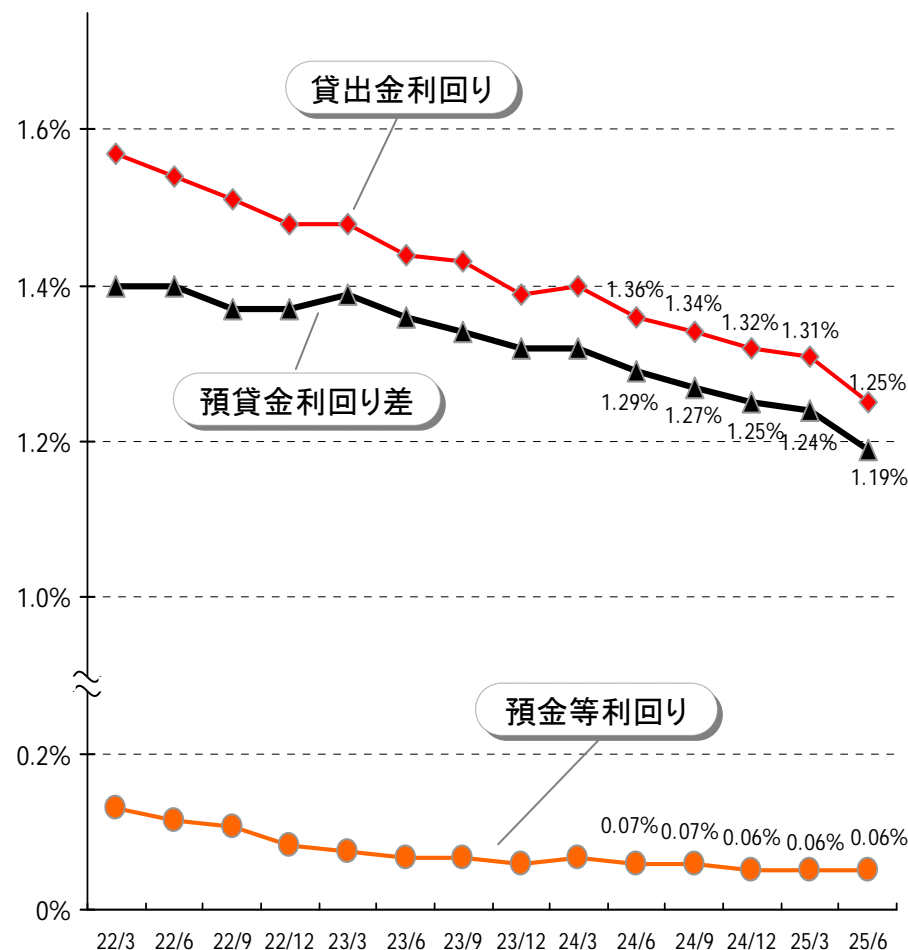


- 25年1Qの預貸金利回り差は市場金利低下に伴う貸出金利回りの低下を主因に縮小

国内預貸金利回りの推移



国内預貸金利回りの推移(政府等貸出除き)



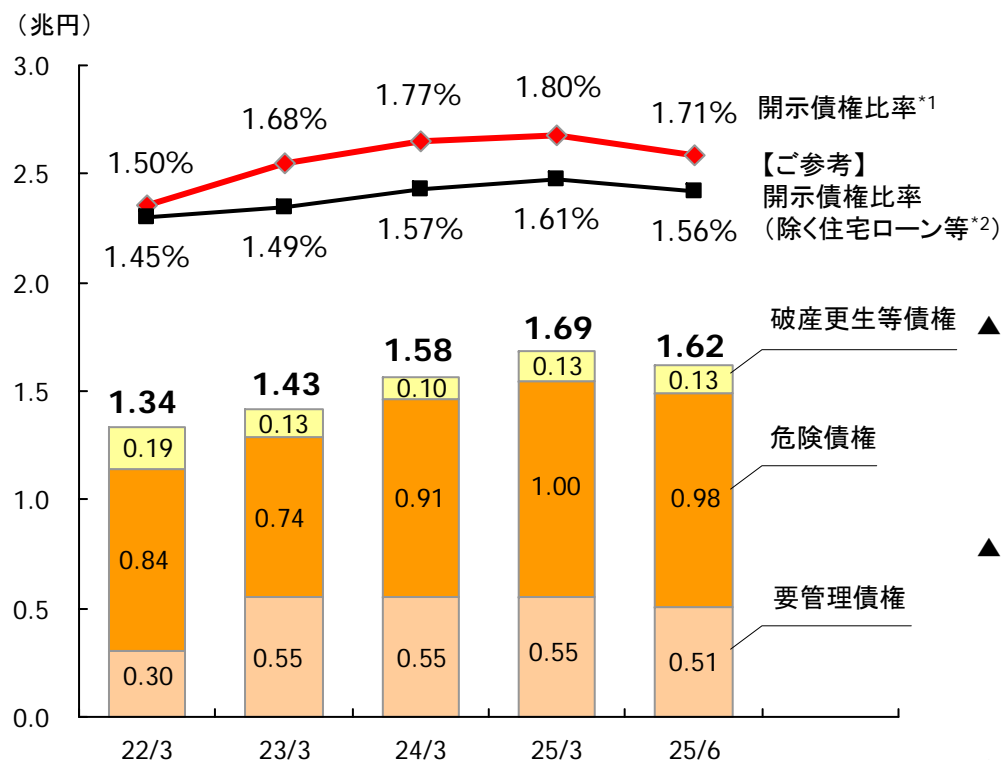
貸出資産の状況

【連結・2行合算】



- 要管理債権および危険債権の減少を主因に、開示債権比率は25/3末比0.08%低下し1.71%
- 与信関係費用総額は、連結では前年同期比ほぼ横這いの154億円（2行合算は22億円）

金融再生法開示債権残高(2行合算)

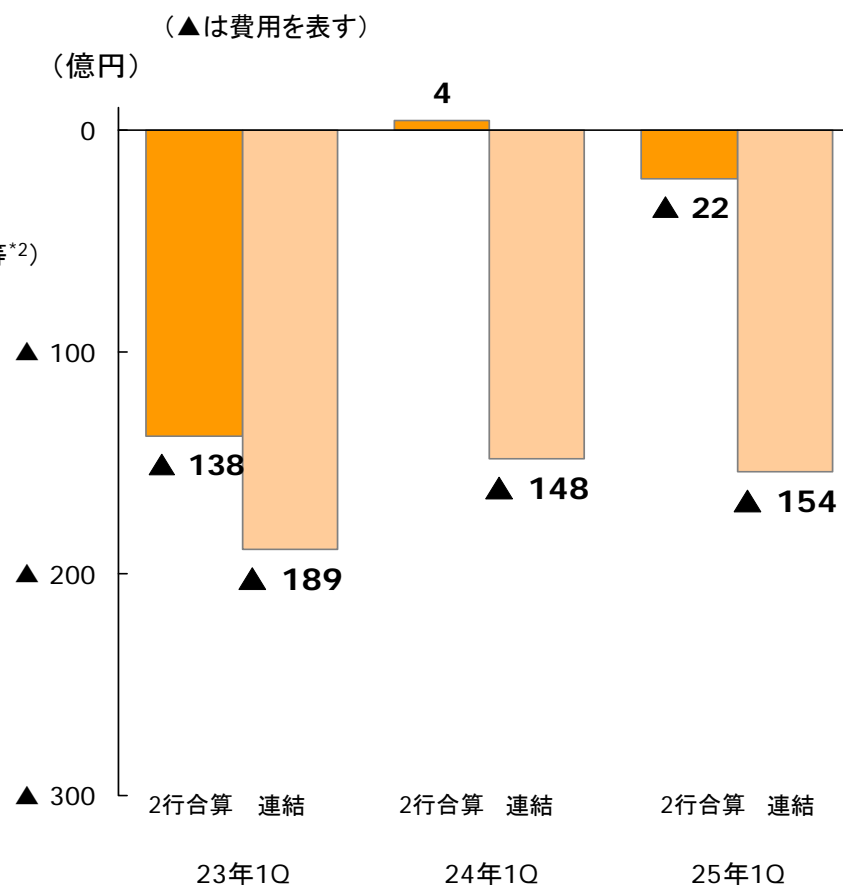


総与信 89.6兆円 85.0兆円 88.9兆円 94.2兆円 95.2兆円

*1 開示債権額÷総与信

*2 グループ保証会社が保証する住宅ローンの貸出条件緩和債権等を除く

与信関係費用総額



保有有価証券の状況

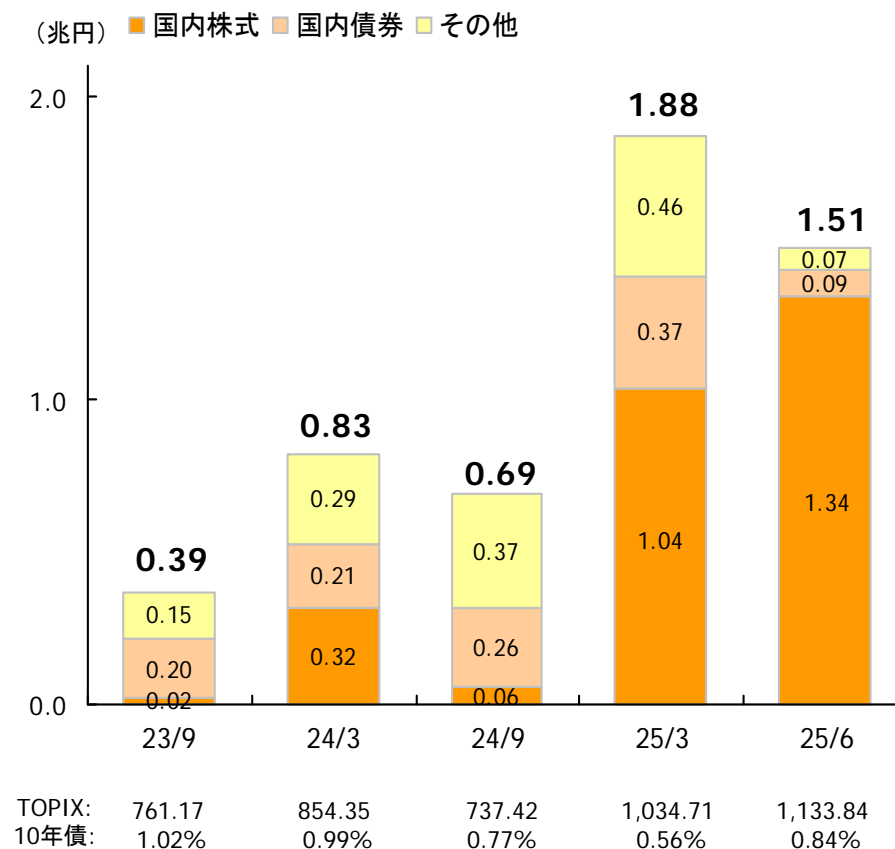
- 国内株式の評価損益が改善した一方、国債および外国債券の評価損益悪化を主因として、
 その他有価証券全体の評価損益は25年3月末比3,681億円悪化

その他有価証券(時価あり)の内訳

(単位:億円)

		25年6月末残高		評価損益	
			25/3末比		25/3末比
1	合計	686,253	▲ 84,664	15,169	▲ 3,681
2	国内株式	41,890	2,924	13,452	2,991
3	国内債券	429,787	▲ 84,943	996	▲ 2,718
4	国債	400,649	▲ 84,130	511	▲ 2,519
5	その他	214,576	▲ 2,646	720	▲ 3,954
6	外国株式	2,077	▲ 14	893	▲ 53
7	外国債券	186,673	2,858	▲ 370	▲ 3,422
8	その他	25,826	▲ 5,490	197	▲ 479

その他有価証券評価損益の推移





● 国債保有残高

- リーディングバンクとして、日銀の量的・質的金融緩和に対応すべく、積極的に国債買入オペに応札
- 国債保有残高は、25/3月末比8.4兆円減少

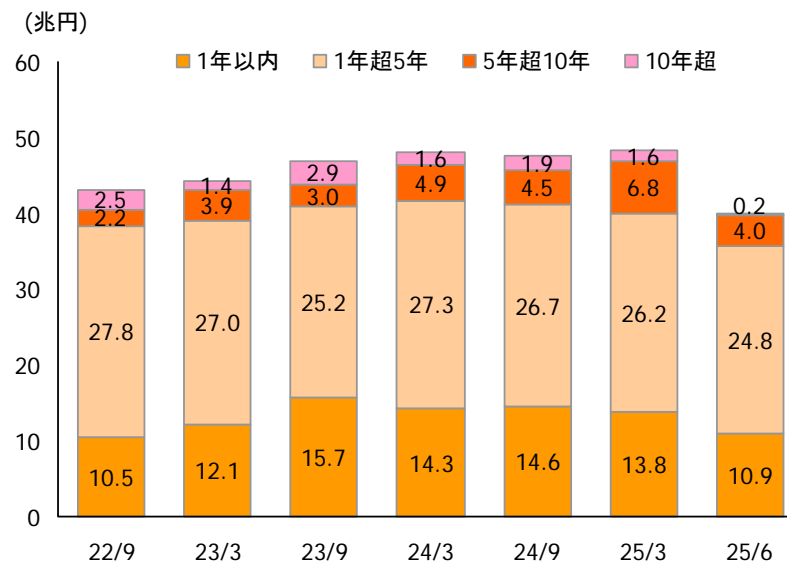
● デュレーション・リスク量

- デュレーションは2.7年と25/3月末比0.5年短期化
- リスク量を25/3月末比で削減

● 今後の方針

- 引き続き安定保有を原則としつつ、市場環境を踏まえ、適切な金利リスクコントロールを行う

国債の償還予定額(2行合算)*1



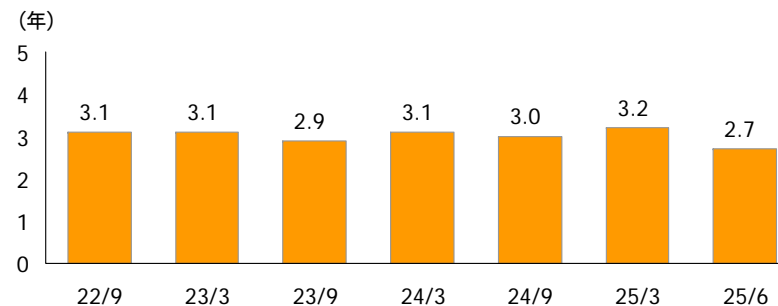
*1 その他有価証券および満期保有目的の国債

国債保有残高

		25年6月末残高		評価損益	
			25/3末比		25/3末比
1	合計	402,799	▲ 84,280	524	▲ 2,524
2	満期保有目的	2,149	▲ 149	13	▲ 5
3	その他有価証券	400,649	▲ 84,130	511	▲ 2,519

(単位:億円)

国債デュレーション(2行合算)*2



*2 その他有価証券

(ご参考) 欧州周縁国へのエクスポージャー



- 欧州周縁国向け実質リスクベースのエクスポージャー残高(商銀連結)は、総資産に対し限定的

25/6末エクスポージャー残高(商銀連結)

	25/3末残	25/6末残
スペイン	約47億ドル	約46億ドル
イタリア	約58億ドル	約56億ドル
アイルランド	約1億ドル	約2億ドル
ポルトガル	約5億ドル	約4億ドル
ギリシャ	約0億ドル	約0億ドル
合計	約111億ドル	約109億ドル

25/6末保有国債残高(MUFG)

	25/3末残	25/6末残
スペイン	約1億ドル	約1億ドル
イタリア	約17億ドル	約14億ドル
アイルランド	約0億ドル	約0億ドル
ポルトガル	-	約0億ドル
ギリシャ	-	-
合計	約17億ドル	約15億ドル

エクスポージャーは限定的

● エクスポージャー残高

- ソブリン向けはゼロ
- 9割以上は一般事業法人向け与信およびストラクチャードファイナンス
- スペイン、イタリア向けエクスポージャーは電力・ガス・通信等のインフラ業種が中心
- 金融機関向け与信は限定的
- CDSヘッジ勘案後のエクスポージャー残高は約98億ドル

● 保有国債残高

- ギリシャ国債の保有はなし
- イタリア国債の大半は満期保有目的であり、約1.2年で償還